



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
E-mail:sato.juichi.v7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No. 47 (2024. 9) 本号の編集担当者 三浦太郎

【支部情報】

予定

- 1) 『第13回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』
2024年11月24日(日) 会場：岐阜じゅうろくプラザ
- 2) 『中部ブロックポータルフォーリオ発表会*2025』
2025年3月15日(土) ZOOMによるオンライン開催
- 3) 『第14回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』
2025年11月30日(日) 会場：福井県内

●三重支部

【活動報告】

1) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

日時：2024年6月7日-9日

三重大からは総勢14名の学生が参加しました。



2) 救急ワークショップ

日時：2024年6月28日(金)

三重大総診では6年生の選択実習として地域の同一の医療機関で3~4ヶ月間の総合診療実習を行う「長期統合型臨床実習 (Longitudinal Integrated Clerkship: LIC)」を行っています。今年度のLIC受講生を対象に救急ワークショップを開催しました。LICの学生2名と附属病院総合診療部をローテ中の2名、研修医1名が参加しました。シナリオとシミュレータを用い、時間負荷や時間による容態変化のある中で原因対策と初期対応に挑戦しました。



3) 日本プライマリ・ケア連合学会学術集会 報告会

日時：2024年7月9日（火）18:30から

JPCA2024に参加した学生の報告会を開催しました。6名の学生が各々の目線で報告をしてくれました。JPCA2024に参加した学生は各々の目線で様々なことを感じ、学んでいたようです。

本会の企画と準備は学生有志が担当してくれました。



4) レジデントデイ

日時：2024年7月23日（火）15:00から18:30

三重総診レジデントデイを開催。専攻4名、研修医1名、地域の指導医4名、大学の指導医5名が参加しました。ビデオレビュー、ケースディスカッションについて、意思疎通が困難な方とのコミュニケーション等を掘り下げ、学びの多い勉強会となりました。

【活動予定】

1) ポートフォリオ発表会

日時：2024年9月29日（日）午前

オンライン（Zoom）で開催予定

2) MieGP 総合診療フォーラム

日時：2025年2月8日（土）予定

●静岡支部

【活動報告】

1) 外国人のための無料健康相談会（菊川市家庭医療センター）

令和6年5月19日、菊川市家庭医療センターで「外国人のための無料健康相談会」を開催いたしました。当日は、菊川市市民課、通訳ボランティア、浜松医大の学生にもご協力いただき、とてもにぎやかな相談会となりました。ブラジル・フィリピン・ミャンマー出身の方々(計15名)にご参加いただき、高血圧症についての健康教室(レクチャー)や、個別の健康相談を実施いたしました。

すべての方が健康で安心して暮らせるよう、誰一人取り残されない医療を目指し今後も頑張っていきたいと思います。



2) 第22回しろわカフェ開催(御前崎市家庭医療センターしろわクリニック) 2024年6月20日(木)

6月20日(木)に第22回しろわカフェを開催いたしました。しろわカフェは市民向けの公開講座です。今回のテーマは、「人生会議ってなにをするの？あなたにとって昔、今、そしてこれから大切にしたいものは何ですか？」を開催しました。

医療現場で求められる意思決定についてや、意思決定支援についてレクチャーをしていただきました。

また、4人1組でグループワークを行い、1人は誕生日プレゼントをもらう人、他の人はプレゼントを贈るために間接的に質問をして何が欲しいのか考えるという事を行い、意思決定について学びました。

今回のしろわカフェは、過去最高の参加者にお集まりいただき、大盛況のうちに終了いたしました。

第22回しろわカフェ
講演内容
『人生会議ってなにをするの?』
あなたにとって
昔、今、そしてこれから
大切にしたいものは何ですか?
担当講師：しろわクリニック家庭医 網分 信二 先生
開催日時：6月20日 (木) 14:00-15:00
開催場所：しろわクリニック
御前崎市白羽3521-10 TEL: 0548-23-3211
*出入りは自由です *当日は写真、動画をとらせていただき、活動の様子をSNS等に紹介させていただきます。差し支えありましたらお知らせください。





3) 第4回不登校・発達障害に関する情報共有会議開催 (森町家庭医療クリニック) 2024年8月1日(木)

森町家庭医療クリニックでは8月1日に町内の小中学校の教師、スクールカウンセラー、教育委員会の皆様と一緒に第4回不登校・発達障害に関する情報共有会議を開催しました。

町内で児童精神科を開業している先生に講師としてお越しいただき、教員の皆様、医師、公認心理師、看護スタッフで事例に基づくグループワークを行いました。

引き続き連携を取りながら地域の皆様のために協力して活動して参ります！



●福井支部

【活動報告】

1. 夏だ！海と地域医療体験ツアーin高浜 開催！

毎年恒例、海浜救護所での救護体験と診療所等での地域医療体験を組み合わせ、医療系学生・若手専門職向けの人気ツアー、「夏だ！海と地域医療体験ツアーin高浜」が今年も開催されました！アジアで初めてビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高浜町の若狭和田ビーチに、全国各地から4週間で合計17名が集結し、地域医療&海を濃厚に感じていただきました。<http://www.wadashin.com/education/tour.php>



2. えいぼうスタッフ勉強会報告「LGBTQ フレンドリーな診療所として成長し続けるために」2024

@永平寺町立在宅訪問診療所

今年度も5月13日に新スタッフ向けに、LGBTQ+の人々が抱える悩みや健康格差、そして、医療機関がそれらを解消し安心して利用いただくための取り組み例について、勉強会を開催しました。受講した当院の師長と専攻医の先生がAllly（支援者）バッジを受け取りました！昨年度のスタッフ勉強会以降では、2023年11月16日の「LGBTQ+と医療講演会」に私もプレゼンターとして参加いたしました。参加を通じて、他の医療機関の取り組み、当事者の皆様の想いを改めて学び、今後も取り組みつづけることの大切さを実感できました。また永平寺町で、2023年11月27日にパートナーシップ宣誓制度がスタートしました！自治体も成長・変化しています！「地域住民の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、伴走します。」という当院の理念に恥じないよう、スタッフとともに今後も成長していきたいと思えます。



3. 永平寺町 多職種勉強会 ～多角的に考える！ Advance care planning～開催しました！

@永平寺町立在宅訪問診療所

2024年6月25日に多職種向け勉強会「多角的に考える！ Advance care planning」を開催しました。昨年度の勉強会の際に、「本人の意思決定を支援するプロセスを知りたい」、「長期にわたって患者家族と関わっている多職種のもつ細かな患者情報をACPに活用出来たらいい」、「多職種がACPを行う事、介入することに難しさを感じている」というご意見がありました。そこで今回は、今後のACPをより良くする事を目標に90分で講演いたしました。予定人数よりも多くの方が参加され、皆様の熱い思いを感じました。勉強会の前半は、福井県と医師会が作成したエンディングノート「つぐみ」の内容に触れつつ、患者の意思決定能力を構成する4要素（理解、認識、論理的思考、表明）や病態ごとのACPのタイミング、ACPを始めるきっかけとなるサプライズクエスションやSPICTについてお話をいたしました。後半は架空の事例を通してグループワークを行いました。デイサービスや施設の職員、訪問看護師、介護士、理学療法士、ケアマネージャー、診療所スタッフなどの多職種からなる4グループを作り、事例について、どのようなアプローチでACPに介入できるか、課題点などを話し合いました。グループワークは、予定していた時間よりも延長するほど、大いに盛り上がり、各グループのまとめの発表では、私自身を含めた参加者が感心するような意見が多く出ました。勉強会のポストアンケート結果を集計したものを、各職種や施設にお渡しして、今回の勉強会を機に多職種と多角的に考えるACPを行うシステムを構築してまいります。



4. トロント大学 Dr. Judith Peranson 来福 2024年6月10日～14日

University of Toronto Department of Family and Community Medicine より Dr. Judith Peranson が来福されました。5日間にわたり、プライマリ・ケアセッティングでの様々なテーマについて講義いただき、大変勉強になりました。テーマは、心房細動、外来診療指導の実践的手法、多職種連携教育、腰背部痛、メンター、パーキンソン病診療での家庭医の役割など、多岐にわたりました。講義以外の時間にもカナダと日本における医療や家庭医療の違いについて熱い意見交換が行われ、我々スタッフにとっては世界の家庭医療のスタンダードを知る貴重な機会となりました。休日には、スタッフが福井を観光案内し、日本文化に触れていただき、大変ご満足いただけただご様子でした。我々の目標でもある「Think Globally, Act Locally.」の実践の大切さを改めて実感しました。はるか海を超えて、福井までお越しいただき、ご教授頂きまして、誠にありがとうございました。



5. 亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田 唯男先生 ご講演 2024年7月2日

亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田唯男先生に來福されて、「未分化な健康問題」についてご講演いただきました。当院での症例を交えながら、未分化な健康問題についてどのように考え、アプローチしていくのかご教授いただきました。岡田先生のアプローチ方法やご紹介いただいた文献を参考に、今後の診療に活かします。ご講演の後には、皆で旬の九頭竜鮎を堪能しました。当院から目と鼻の先にある、全国でも有数の鮎の産地でもある清流九頭竜川が流れており、新鮮な九頭竜鮎を楽しめます。会食中も活発な意見交換が交わされ、大変有意義な会となりました。遠方よりお越しいただきまして、誠にありがとうございました。



6. 「福井大学医学部付属病院総合診療部医局説明会」を開催しました 2024年7月16日

当科では、年に数回、医局説明会と銘打って、総合診療に興味のある学生や臨床研修医と会食をしております。今回は、20名近い学生・臨床研修医が参加し、大変好評のうちに幕を閉じました。事前に寄せられた学生からの「総合診療医ってなんだろう？」という疑問について、若手スタッフから実際の現場の声を交えて発表いたしました。さらに、林寛之教授より「これから求められる医師像」についてお話があり、一同、大変感銘を受けておりました。病院や教室とは違うフランクな雰囲気の中で、スタッフや学生・研修医がざっくばらんに話しができて、スタッフも勉強になりました。引き続き、定期的を開催して、学生や研修医に総合診療を知ってもらえるよう活動してまいります。



●岐阜支部

【活動報告】

1) 2024 年度第 2 回ぎふ総合診療レジデントデイ

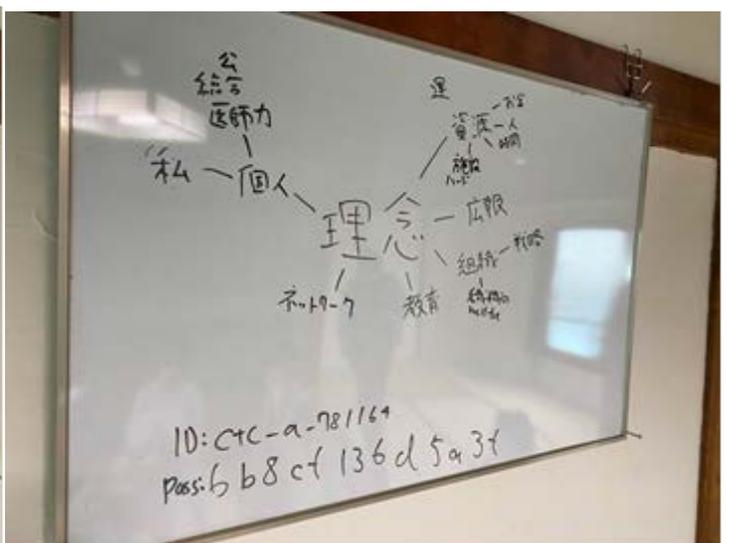
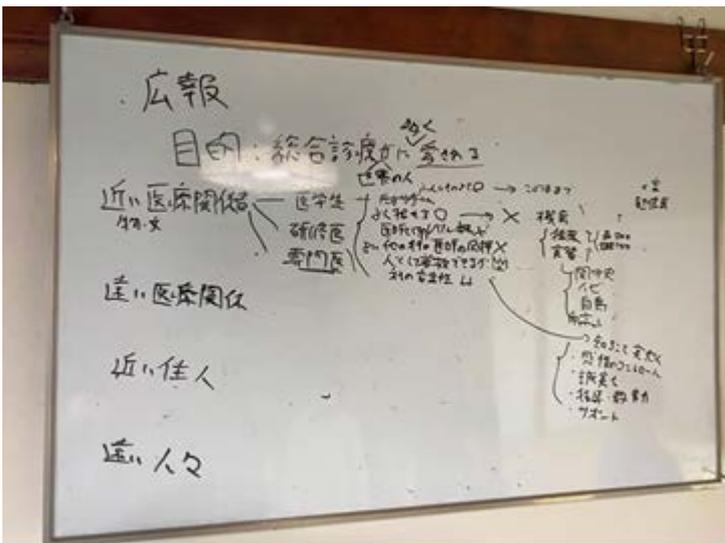
日時：2024 年 7 月 12 日（土）13：00～17：00

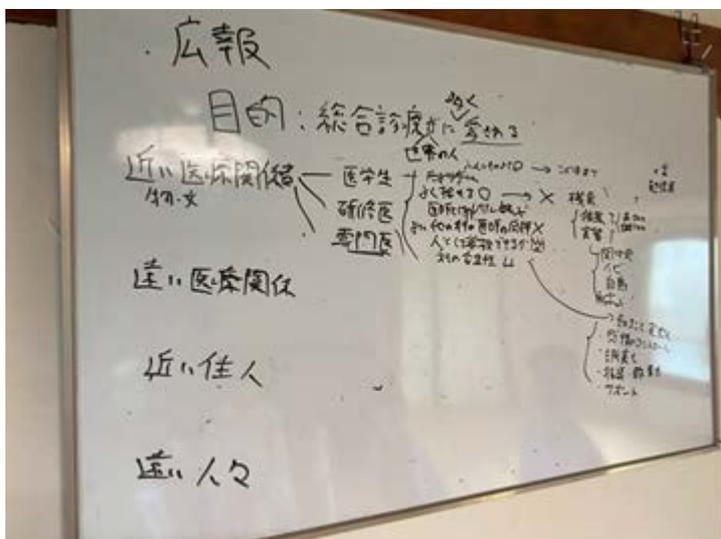
場所：古民家スペース&カフェバー 空と月（〒500-8141 岐阜県岐阜市月丘町 3 丁目 8-4）

参加：9 名（指導医 2 名、専攻医 6 名、研修医 1 名）

内容：ファシリテーション（指導医：森充広）

1. オープニングの講義（指導医）
2. レゼンテーション練習（専攻医 1 名）
3. 医局会：指導医、専攻医による総合診療科のこれからの相談する会
4. 症例検討+レクチャー（プレゼンター 専攻医 1 名）





2) 第7回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー (心臓・肺)

日時: 2024年6月29日(土) 13:00~16:00

場所: 総合在宅医療クリニック (岐阜県羽島郡岐南町薬師寺4-12)

参加: 46名 (ファシリテータ2名、指導者10名、受講者23名 (指導医1名、専門医2名、専攻医9名、研修医11名)、モデル学生11名)

内容:

1. 講義 胸部エコーとその到達目標 (服部和樹医師) 30分
2. 胸部エコーハンズオンセミナー 120分
3. 講義 胸部異常エコー (長屋麻紀臨床検査技師) 20分
4. 到達目標到達度アンケート記入 10分



予定

1) 第8回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー (腹部・血管)

日時：2024年10月12日(土) 13:00~16:00

場所：総合在宅医療クリニック (岐阜県羽島郡岐南町薬師寺 4-12)

2) 2024年度第3回ぎふ総合診療レジデントデイ

日時：2024年9月13日(金) 13:00~16:00

場所：岐阜大学医学部本館6階多目的室

●石川支部

【活動報告】

石川県支部としての活動はありませんが、会員が主体となって開催された活動をご報告します。

1) 恵寿サマーキャンプ2024 特別セミナー

日時：8月10日(土) 9時～12時30分

会場：恵寿総合病院 3病棟6階 Keiju Innovation Hub

参加者：医学生、臨床研修医、専攻医、指導医

1：アメリカの家庭医療・地域医療とその教育

講師：R. Eugene Bailey 先生

(ニューヨーク州立大学家庭医療研修プログラムディレクター・恵寿総合病院非常勤特別指導医)

協力：黒田 格 先生(富山大学附属病院総合診療科)

毎年1週間、恵寿総合病院に指導に来てくださる Bailey 先生により、模擬診察と模擬プリセプティングを通して家庭医療外来におけるプリセプティングの方法について指導いただき、よりよいフィードバックの仕方についてディスカッションしました。

2：オーストラリアでの僻地医療研修の経験から

講師：上田 一輝 先生 (元・北陸総合診療コンソーシアム恵寿/恵寿家庭医療研修プログラム専攻医)

オーストラリアの総合医のシステムについて紹介していただき、自身の研修を通して日本での総合診療、家庭医療のあり方や可能性について議論しました。

3：恵寿における卒後臨床研修・専門研修における総合診療・家庭医療研修

講師：吉岡 哲也 先生 (恵寿ローレルクリニック院長)

成人学習理論を参考に、外来プリセプティングでより充実した学びが得られる学習者の姿勢や方略について紹介されました。



2) 令和6年能登半島地震ごちゃまるクリニック活動報告会

日時：8月16日(金) 19時30分～21時

会場：ごちゃまるクリニック/Zoom

令和6年度能登半島地震で甚大な被害のあった輪島市にあるごちゃまるクリニックが、JPCA 能登半島地震支援プロジェクトの支援も受けながら被災後も地域ケアを継続してきたその活動について報告会を行いました。

報告会では、医師、看護師、助産師、作業療法士、医療事務が当時を振り返りながらクロストークが行われました。

発災直後、電話は使えずラインでスタッフの安否確認。避難所では責任者不在で現場で決められないことが多く混乱した状況。介護福祉施設が被災して福祉避難所が開設できずも、その後指定避難所に集まりみなし福祉避難所になって支援がしやすくなったが、関わる専門職も少なく大変な状況。在宅ケアでは、自宅訪問するも車中泊してるなどどこに患者がいるか把握困難な状況。そのような中でも外来診療再開後、避難で外来患者少ない状況も被災地オンライン診療開始により患者の顔が見えるようになった喜び。地域の癒しの場となった被災地コミュニティ支援の「ごちゃらあと」・妊婦・産後ケアの「ハピまるカフェ」、のことが紹介されました。

令和6年度能登半島地震
ごちゃまるクリニック
活動報告会

被災地での5つの場面をクリニックメンバーと
振り返りながらのクロストーク
・混乱と激動の発災後3週間
・在宅ケア（訪問診療・看護・リハ）
・外来・オンライン診療
・被災地コミュニティ支援（ごちゃらあと）
・妊婦・産後ケア（ハピまるカフェ）

令和6年度能登半島地震発災から8ヶ月、
様々な支援を頂きここまで地域ケアを
継続することができました。
これまでの感謝の気持ちを込めて！！

8月16日(金)
19:30~21:00

場所 ごちゃまるクリニック/zoom
(現地+オンラインのハイブリット開催)

申込 QRコードから申し込みください
オンライン参加の方には後日メールでZOOMリンクを送ります

お問い合わせ
ごちゃまるクリニック
0768-234-234
gochamaru234@gmail.com
輪島市河井町23-1-150

申込はこちらから

【今後の予定】

第19回北陸総合診療懇話会

「能登半島地震を経験して総合診療医ができること」

開催日時：2024年10月5日（土） 14時～17時

開催場所：金沢医科大学 臨床教育棟4階 E41 講義室

参加費：無料

日本プライマリ・ケア学会の単位認定

専門医・認定医更新のための単位3単位/プライマリ・ケア認定薬師の認定単位2単位

プログラム

能登半島地震の経験(地域の中核病院からの報告 演者:中橋毅(金沢医科大学 総合内科学、穴水総合病院)

能登半島地震の経験(地域のクリニックからの報告 演者:小浦友行(輪島ごちゃまるクリニック)

DMATのSCU活動(広域搬送)について 演者:林寛之(福井大学医学部附属病院 救急科・総合診療部)

能登半島地震のJMATの活動(JMAT医師の報告) 演者:村井裕(恵仁クリニック、小松市医師会)

JPCA 能登半島地震支援プロジェクトとやまチームの活動報告 演者:木戸敏喜(富山大学附属病院 第一内科)

能登半島地震における後方支援病院からの報告 演者:鎌田徹(恵寿総合病院)

能登半島地震における医療介護福祉調整会議の活動 演者:丸岡達也(穴水町まるおかクリニック)

能登半島地震における1.5次避難所の医療活動 演者:上西博章(金沢医科大学 総合内科学)

総合討論

●富山支部

<しろえびカンファランス>

2024年7月10日に、とやま総合診療専攻研修プログラムと南砺市民病院総合診療プログラム合同でポートフォリオ勉強会をオンラインで開催しました。

今回も前回と同様の方式で Case-based Discussion (CbD)を各グループに分かれて行いました。

各グループの専攻医が持ち寄った現在進行形のお悩み事例を通して、指導医の先生も交えながら、どのようにしていけば良いかを皆で考え、意見を出し合いました。ディスカッションを通して、参加した皆さんそれぞれの今後の診療への姿勢や考え方などに良い変化がありました。

後半は専攻医によるポートフォリオ発表会を行いました。「障害とりハビリテーション」「臨床における教育と指導」といった領域での事例を各グループで共有しました。事例を通じた様々な意見やアイデアを通して、よりポートフォリオとしての内容が深まったり、新しい課題が見えました。

毎月開催であり、ひきつづき外部の方の参加者も受け付けています。富山大学附属病院総合診療科お問い合わせフォーム (<https://tomgeli.com/>)からお気軽にご連絡ください！

<朝日町地域医療合宿>

2024年6月29日から30日にかけて、富山大学附属病院総合診療科主催であさひ総合病院、富山大学附属病院 朝日・地域医療支援学講座共催の、朝日町地域医療合宿を行いました。

29日は、富山県東端の朝日町笹川地区の古民家を会場とし、富山大学医学科生 2-6年生 10名が参加し、地域に暮らす住民の方にも複数参加していただいてグループワークという形で、在宅医療の場での意思決定について学びました。

夜は、住民の方々に朝日の海の幸、山の幸、貴重な地酒までも提供いただきました。

ほたる観賞会も開催され、古民家の宿泊も行い、幻想的な里山を堪能しました。

翌30日は、住民の方と一緒に地域を散策し、各々写真を撮ってその写真の解説をしてもらう「フォトウォーク」を行いました。

坂の多い笹川地区での生活に触れ、また学生個人が様々な視点で写真を撮り、何を感じたのかを共有することで地域についてとともに、学生個人についても理解を深める機会となりました。

<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子、愛知県；佐藤寿一

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大浦誠

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください

中部ブロック支部事務局 kimura.etsuko.f2@f.mail.nagoya-u.ac.jp